

小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第1号 H30年4月
編集：SSH推進委員会
発行責任者：小浦 寛

「正答のない問題を主体的・協働的に解決することができる探究力を持った人材の育成」

本校理数科は、平成18年度に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されました。SSH事業Ⅰ期、Ⅱ期の10年を修了し、平成28年度からⅢ期目の5年間でスタートしています。Ⅰ期、Ⅱ期の成果をふまえてⅢ期目では、理数科に加えて普通科の生徒もSSH事業の対象となりました。今年度から開講するあたらしい学校設定科目「課題探究Ⅲ」では、3年理数科で科目融合、領域融合型の学習に取り組みます。また、2年生が行う課題研究では、より高いレベルを目指し、探究力の育成に努めていきます。

●平成30年度 SSH事業予定●

学校設定科目

●総合科学（理数科1年生）

科学者の倫理観、健康と医療、生活の科学等の教科の枠を超えた探究学習を行うとともに、課題研究のための基礎技術を習得します。



●課題探究Ⅰ（理数科1年生）

「総合科学」と連動してテーマ設定を行い、テーマ発表会や指導教員による指導・助言を受けて、課題研究を開始します。



●探究基礎（普通科1年生）

4月～9月はディベートを中心に論理的思考力を養い、証拠による論証の仕方を学びます。10月以降はグループに分かれて基礎課題研究（文系）と化学実験講座（理系）を行い、探究活動に必要な知識・技能を習得します。



●プレゼンテーション&ディスカッション（1年生全員）

口頭発表に必要な技術や、発表用ファイル作成のための技術を習得します。英語による発表を行い、質疑応答や討議をする能力を育成します。



●課題探究Ⅱ（理数科2年生）

グループに分かれて課題解決のため調査・実験・考察などの探究活動を行います。その成果を、校内・校外・ポスターで発表（日本語、英語）します。必要に応じて大学教員の指導を受け、研究内容を深めます。



●課題探究（普通科2年生）

「探究基礎」で育成された課題発見能力、探究スキルを用いて課題を設定し、課題研究を行います。また、クラス内発表会、校内発表会を行い、発表能力を育成します。



NEW

●課題探究Ⅲ（理数科3年生）

科目融合、領域融合型の学習を通して授業で学んだ知識・技能を活用する能力を身につけます。現実の課題を解決するプロセスを経験することで、大学での学びにつなげていきます。

●科学探究（普通科3年生）

理系では、発展的な実験活動を通してデータ処理能力、問題解決能力を身につけます。科目の枠にとらわれず、各々の領域の知識を柔軟に関連づけ探究力の向上を目指します。文系では、科目融合、領域融合型の学習を通して発展的な探究活動を行います。



校外学習予定

●生物分野の野外実習（理数科1年生）

日時：7月26日(木)～27日(金)（1泊2日）
場所：能登少年自然の家、のと海洋ふれあいセンター
内容：ウニの発生実験、海辺の生物採集観察などを行います。



●地学分野の野外実習（理数科1年生、普通科1年生の希望者）

日時：8月23日(木)
場所：金沢市銚子町付近（大桑層）
内容：化石採集や地層観察などを行います。



●工学部実験セミナー（理数科2年生）

日時：8月6日(月)～7日(火)（1泊2日）
場所：金沢工業大学
内容：バルサブリッジの製作を行い、もの作りの楽しさ、おもしろさを学びます。韓国大田科学高校の生徒も来日し、一緒にセミナーに参加します。



●全国SSH生徒研究発表会（理数科3年生課題研究代表1グループ）

日時：8月7日(火)～9日(木)（2泊3日）
場所：神戸国際展示場
内容：全国のSSH校が一同に集まり研究発表会を行います。



●全国SSH生徒研究発表会見学ツアー（理数科1年生、2年生）

日時：8月8日(水)
場所：神戸国際展示場
内容：全国のSSH校のポスター発表を見学し、自分たちの課題研究の参考にします。学際的な雰囲気の中で全国の仲間たちとの交流体験をします。



●関東サイエンスツアー（理数科1年生）

日時：9月27日(木)～28日(金)（1泊2日）
場所：東京大学（本郷キャンパス）、東京工業大学（すずかけ台キャンパス）
内容：最先端の科学研究に触れ、技術者や研究者と接することで見識を深めます。



●韓国大田科学高校との科学交流（理数科2年希望者）

日時：12月16日(日)～19日(水)（3泊4日）
場所：韓国大田科学高校、韓国科学技術院、果川科学館など
内容：本校の生徒が課題研究のポスター発表を英語で行います。韓国の最先端技術に触れます。

